

## レジメン登録申請書

診療科	消化器内科	申請医師		提出日	2023 12 月22 日
レジメン名称	T-mab+mFOLFOX6療法				
対象疾患・ステージ等	HER2陽性の切除不能進行・再発胃癌				
適応の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 保険適応あり <input type="checkbox"/> 保険適応なし				
入院実施による算定方法	<input checked="" type="checkbox"/> DPC包括対象 <input type="checkbox"/> DPC包括対象外（出来高算定）      (薬剤師が診療情報士に確認する)				
本治療の位置づけ	HER2陽性の切除不能進行・再発胃癌				
使用予定日	2023年 12月27日				

	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール															
						1日目	2日目	15日目	22日目	29日目	36日目	43日目	週目	週目							
治療内容	Rp 1	パロノセトロンバッグ	50 mL	30 min		●		●			●				●						
		ホスアプレピタント	150 mg																		
		デキサメタゾン	6.6 mg																		
	Rp2	トラスツズマブ	8mg/kg(初回)	90min(初回)		●			●							●					
			6mg/kg(2回目以降)	30min(2回目以降)																	
		生理食塩液	250mL																		
	Rp 3	生理食塩液	100 mL	60 min		●		●			●					●					
	Rp 4	レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>	120 min		●		●			●					●					
		5%ブドウ糖液	250 mL																		
	Rp 5	オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>	120 min		●		●			●					●					
		5%ブドウ糖液	250 mL																		
		レボホリナートと同時に投与。																			
	Rp 6	フルオロウラシル	400 mg/m <sup>2</sup>	急速静注		●		●			●					●					
		生理食塩液	100 mL																		
Rp 7	フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>	46時間持続		●		●			●					●						
	生理食塩液	適量																			
総投与時間	53時間																				
血管外漏出時のリスク	5-FU:炎症性抗がん剤 L-OHP:炎症性抗がん剤																				
(備考)調製時・投与時の注意点など	<p><b>調整時の注意</b> L-OHP: アルミニウムとの接触により分解することが報告されているため、本剤の調製時あるいは投与時にアルミニウムが用いられている機器(注射針等)は使用しないこと。</p> <p><b>投与前の注意</b> L-OHP: 塩化物含有溶液により分解するため、生理食塩液等の塩化物を含む輸液との配合を避けること。本剤は塩基性溶液により分解するため、塩基性溶液との混和あるいは同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと。</p> <p><b>投与中/後の注意</b> L-OHP: 薬液が血管外に漏れると、注射部位に硬結・壊死を起こすことがあるので、薬液が血管外に漏れないように慎重に投与すること。 過敏症が起こった場合には、ただちに投与を中止し、適切な処置を行う。軽度な場合には、再開することもあるが、その際には投与速度を半分にするのが勧められる。</p>																				

1サイクル期間	FOLFOXは2週毎 トラスツズマブは3週毎
総コース数	PDまで